

報道関係者各位

令和元年 7 月 23 日

全国産業安全衛生大会 in 京都

(10 月 23 日～25 日)

初日 総合集会の特別講演

コシノジュンコ氏の登壇が決定！

中央労働災害防止協会（中災防）は、令和元年 10 月 23 日（水）～25 日（金）の 3 日間、みやこめっせ、京都パルスプラザ、京都経済センターほか、京都市内の施設を会場に、「第 78 回全国産業安全衛生大会（京都）」を開催します。その初日である総合集会（於：みやこめっせ）の特別講演者として、世界的ファッションデザイナーであるコシノジュンコ氏（別紙参照）を迎えることが決定しました。

総合集会では、文化庁長官で金工作家の宮田亮平氏の講演を予定していましたが、宮田氏が即位の礼に伴う行事に参列する予定となったため登壇できなくなりました。そこで新たに、日本を代表するファッションデザイナーであり、国際的な文化交流にも尽力されているコシノジュンコ氏を迎え、特別講演「おかあちゃんからもろた言葉～NHK連続テレビ小説『カーネーション』から～」（仮題）をお送りすることとなりました。

コシノジュンコ氏の母で、ファッションデザイナーだった小篠綾子さんをモデルにしたドラマ「カーネーション」では、綾子さんがデザイナーとして、三姉妹の母として強く生き抜く姿が描かれ、ジュンコ氏の姿も幼少期からトップデザイナーとなっていくまでが鮮やかに描かれました。

講演では、デザイナーとして成長する中で、奮起のきっかけや支えとなってくれた母・綾子さんの言葉を振り返り、失敗をチャンスに変えてきた“世界の JUNKO KOSHINO”が進む道などについて話される予定です。

全国産業安全衛生大会は、「全国産業安全大会」として 1932（昭和 7）年に開催して以来、今年で 78 回目（別添参照）。毎年、働く人の安全・健康の確保と労働災害の撲滅を目的に開催し、全国の企業・団体等から 10,000 人を超える人が参加します。

京都では、1938（昭和 13）年に第 7 回全国産業安全大会として開催。全国産業安全衛生大会となってからは初の開催となります。

約 300 のプログラムを用意。全国の企業による安全衛生に関する研究発表、シンポジウムやパネル討論などを行います。太田雄貴氏、佐々木かをり氏、ウスビ・サコ京都精華大学学長をはじめ、多くの著名人の講演も予定しています。

プログラムの詳細は、9 月中旬に正式決定します。

（裏面に続く）

なお、大会と同時開催で、日本最大の安全衛生保護具・機器等の展示会「緑十字展 2019」（京都パルスプラザ）も行います（入場無料）。

全国産業安全衛生大会、緑十字展とも、会期中、報道機関による取材に対応します。詳細は下記の照会・取材連絡先へお問い合わせください。

【第2回 実行委員会（8月1日）ご取材のお願い】

今大会を協力して実施する公益社団法人京都労働基準協会（会長：坂本隆司・第一工業製薬会長兼社長）の主催により、大会前最後の実行委員会として、京都労働局長、中災防理事長らも出席し、基準協会各支部、関係者等の現在の取り組み状況などを説明する「**第2回実行委員会**」を8月1日（木）16時から、京都タワーホテル9階「飛雲・紫峰の間」で開催します。開会から閉会（17時15分予定）までご取材いただけます。下記の照会・取材連絡先へご一報いただくか、当日、直接会場へお越しください。よろしくお願いいたします。

※この資料は、京都府政記者クラブ、京都経済記者クラブ、厚生労働記者会、厚生労働省労政記者クラブ、厚生日比谷クラブ、鉄鋼研究会に配布しています。

【担 当】

中央労働災害防止協会	教育推進部長	早木 武夫
	同 次長	林 かおり
		（電話）03-3452-6032

【照会・取材連絡先】

中央労働災害防止協会	総務部広報課長	高橋まゆみ
		（電話）03-3452-6542



中災防は、昭和39年に労働災害防止団体法に基づき設立された団体で、事業主の自主的な労働災害防止活動を支援するため、企業の人材の育成、安全衛生の専門技術の提供および最新安全衛生情報の提供など、安全衛生に関する総合的な事業を行っています。

会 長：中西 宏明（なかにし・ひろあき：日本経済団体連合会会長）

理事長：八牧 暢行（やまき・のぶゆき）

中災防 本部所在地：東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館

コシノジュンコ 氏

(JUNKO KOSHINO株式会社 デザイナー)



新人デザイナーの登竜門「装苑賞」を最年少の 19 歳で受賞。1978 年パリコレクション初参加。北京、NY(メトロポリタン美術館)、ベトナム、キューバ、ポーランド、ミャンマー、スペインなど世界各地でファッションショーを開催。国際的な文化交流に力を入れる。オペラ、ブロードウェイミュージカル《太平洋序曲》(トニー賞ノミネート)、スポーツユニフォーム、花火のデザイン等を手掛ける他、国内被災地への復興支援活動も行っている。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 文化・教育委員、2025 年国際博覧会誘致特使、平成 29 年度文化功労者顕彰、文化庁「日本博」企画委員。TBS ラジオ 「コシノジュンコ MASACA」(毎週日曜 17 時～)放送中。

全国産業安全衛生大会の 誕生とあゆみ

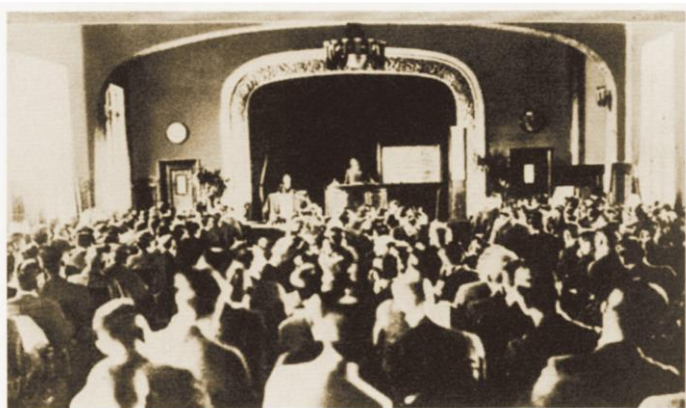
◆ 昭和7年、第1回『全国産業安全大会』 東京で開催

第1回の全国産業安全大会が、(財)産業福利協会の主催により、1932(昭和7)年11月21日から3日間、東京・神田の学士会館で開催され、300人を超える人たちであふれた。

安全運動の先駆者・蒲生俊文の司会のもと、“同志が集う”会場には熱気があふれ、互いに手を取り合って安全運動を推進していこうとする連帯ムードが高まった。

大会の目的の一つである「連帯」は十分に果たされたが、それにも増して注目されるのは、その後ひたむきに継続されることとなる安全対策への「科学の導入」といえるものであった。

それは、「人間とは何か」にメスを入れ、人間の持つ弱点をカバーする方策に取組もうとする科学的姿勢が、企業の中に生まれつつあることを示したものであった。



盛況な第1回全国産業安全大会（昭和7年11月 東京・学士会館）

◆ 昭和29年、第1回『全国労働衛生大会』 東京で開催

1954(昭和29)年10月14、15日の2日間、東京の読売ホールにおいて、全国から1,300人の主に労働衛生管理に携わる関係者が集い、第1回の全国労働衛生大会が開催された。

北は富士製鉄(株)室蘭製鉄所から南は旭化成(株)延岡工場まで、いずれも衛生管理の進んだ事業場からの発表であった。結核、鉛中毒、けい肺などの予防に関する報告が目立った。

◆ 昭和44年に『安全大会』と『労働衛生大会』が一本化されて『全国産業安全衛生大会』に

1967(昭和42)年の東京大会は、労働基準法施行20周年記念大会として初めて安全、衛生両大会の合同開催となり、参加者は13,000人を数えた。



全国産業安全衛生大会・総合集会

翌々年の 1969 年(昭和 44 年)には、現在の「全国産業安全衛生大会」の、原型が生まれ、内容を拡充するとともに、「緑十字展」を盛大に開催することとなった。



総合集会・災害ゼロへの誓い

「緑十字展」も京都で併催

◆ 緑十字展とは

安全衛生保護具、機械の本質安全化にかかる機器、職場環境・作業方法の改善機器、健康増進機器等の展示や装着体験セミナー等を通じて、職場の安全衛生を普及・促進し、労働災害の防止、働く人の心身両面にわたって健康で快適な職場環境づくりに関する安全と健康の最新情報と技術をご紹介しますわが国最大の展示会である。



緑十字展 2018in 横浜 (2018 年・横浜)

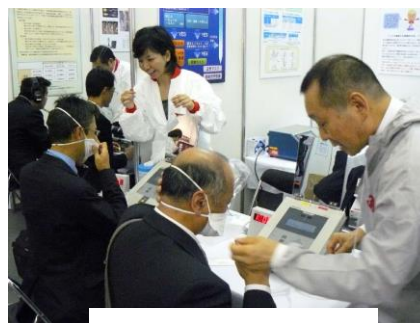
◆ 第 1 回緑十字展は昭和 43 年、安全会館（東京都港区）で

1968（昭和 43）年 9 月 30 日から 10 月 7 日にかけて、東京都港区の安全会館および同会館前広場において、全国労働衛生週間にあわせて開催された。

翌 1969（昭和 44）年に名古屋市で開催された全国産業安全衛生大会から、毎年同時開催するようになり、現在に至っている。



墜落衝撃実験



安全衛生保護具体験道場

参考資料：「安全衛生運動史・安全専一から 100 年」（中災防発行）
「日本労働災害推進会のあゆみ」（日本労働災害推進会発行）